

2023.01.31

Ideation3X 社への横河電機株式会社からの 10 百万米ドルのシリーズ B 出資について

ユニゾン・キャピタル・グループ（「ユニゾン」）が創業以来成長を支援してきた Ideation3X 社（本社：シンガポール、以下「i3X 社」）に対して横河電機株式会社（以下「横河電機」）から 10 百万米ドルのシリーズ B 出資を受けましたのでお知らせします。

2017 年に創業された i3X 社は、インド市場における統合的廃棄物管理（Integrated Solid Waste Management: ISWM）の領域における循環型廃棄物処理のユニークな技術力を持つベンチャー企業です。インドでは現在モディ政権の強力なリーダーシップのもとで「クリーン・インド・ミッション」が進行中です。このミッションの一つの目標は 2030 年までにインド全域で 3000 箇所存在するごみ廃棄場を、衛生的に処理し、同時に循環経済型の廃棄物処理モデルを確立することであり、その社会的インパクトの大きさと、地球温暖化対策の観点から大変注目されています。

i3X 社は今回の横河電機からのシリーズ B 出資を契機として、日本企業を中心とするシリーズ B 資金調達をさらに進め、インドにおける循環型廃棄物処理事業の成長に向けた投資を拡大していきます。ユニゾンによるガバナンスを受ける i3X 社は ESG の観点から高い評価を受けており、それが新規プロジェクト受注に繋がっています。日本企業の資金力と、技術力によって i3X 社がさらに成長していくことで、「クリーン・インド・ミッション」の達成に貢献していくことが可能となり、それがインド市場における日本企業の更なるプレゼンス拡大につながるという良循環を確立していくことがユニゾンの狙いです。

Unison Capital Management Pte. Ltd.の山本修 (Osamu Yamamoto) CEO

「ユニゾン・キャピタル・グループは、自己資金を使った直接投資の一環として i3X 社を創業以来支援してきました。この度「計測と制御」の領域で日本を代表する企業である横河電機からの出資を受けたことで、i3X 社のインド市場における成長を次のステージへと繋げ、さらに大きな社会的インパクトを生み出すことに大きな期待感を持っています」

ユニゾン・キャピタル・グループについて

ユニゾン・キャピタル・グループは 1998 年に創業された日本、韓国およびシンガポールを拠点とするプライベート・エクイティ投資会社です。日本および韓国の中堅・中小企業を

対象とするバイアウト投資のパイオニアとして、日本の5ファンド、韓国の2ファンドで累計50億ドル（約5,000億円）のエクイティ投資運用実績を持ちます。

Ideation3X について

本社：シンガポール

設立：2017年

創業会長：Dr. Manoj Jain

従業員数：約200人

事業内容：廃棄物からの代替燃料製造、循環型の廃棄物処理事業

ウェブサイト URL：<https://ideation3x.com/>（英文）

YOKOGAWA について

YOKOGAWA はエネルギー、化学、素材、医薬品や食品など幅広い産業に向けて、計測、制御、情報を軸に卓越したソリューションを提供しています。生産効率の向上、設備運用の改善やサプライチェーンの最適化といったお客様の課題をデジタル技術の活用によって解決し、自律化が進む未来に向けた歩みを進めています。

1915年に東京で創業、今日では61か国122社のグローバルネットワーク、17,000名以上の社員を有し、持続可能な社会に向けて、新たな価値を創造しています。

本件に関するお問い合わせ先：広報担当（03.3511.3900 / pr@unisoncap.com）